



村内や他村の村民も、
雨乞いの儀式をすると、
必ず雨が降った、と伝
える。

「新編武蔵風土記稿」に「例祭七月二十八日獅子舞ヲ執行ス」と記されている金井八幡神社の獅子舞である。寛文年間（一六六一〜一六七三）から踊り続けられているという。

古老曰く、旱魃かんばつのとき、金井川と鶴見川との合流点（洗期取せんぐとり場）に、注連縄を張り、獅子頭のみ泳がし、あるいは被つて泳ぎ周囲から水をかけながら、「懺悔懺悔六根清浄ざんげざんげろくこんしょうじょう」を、繰り返して唱え、雨乞いをした。その後、金井八幡神社で舞いを行い、二人の使者が伊勢原の大山阿夫利神社に詣で、二重滝から取水した神水を青竹の筒に授かり金井八幡神社の松の御神木にかけ、さらに金井川と木倉川の源流にその神水を流し、雨の降るのを待った。

金井の獅子舞 雨乞いの地

作品番号：11826815

作品タイトル：雨乞いの石碑

作家：中井 寿一

キャプション：

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：東京都 町田市

撮影年月日：2020年12月16日

学術名：

クレジット表記：(c)Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：5472px × 3648px

印刷サイズ：39.7cm × 26.5cm

データサイズ：8.8MByte

ファイル形式：JPEG